

数直線と正の向き、負の向き、絶対値

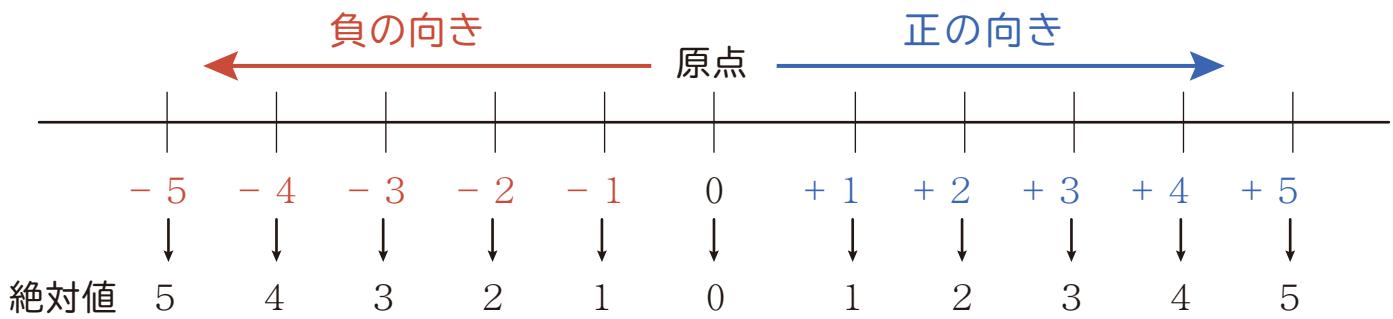
すうちょくせん

数直線で0に対応する点は、原点という。

原点から正の数への向きを、正の向きという。

原点から負の数への向きを、負の向きという。

数直線上で、原点(0)から、ある点までの距離を絶対値という。



数の大小と不等号

数の大小は不等号で表すことができる。

$-3 < +2$

$-4 > -7$

$-8 < -2 < +6$

1 次の数の絶対値をいいなさい。

① $+2$

② -6

③ -3

④ $+9$

⑤ $+1.5$

⑥ -7.2

⑦ $+\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{4}$

2 □ にあてはまる不等号を入れなさい。

① $-5 \square +3$

② $-8 \square -4$

③ $+2 \square +4$

④ $-30 \square -40$

⑤ $+1.5 \square -1.3$

⑥ $-3.4 \square -3.34$

⑦ $-\frac{1}{4} \square -\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{5} \square +\frac{1}{6}$

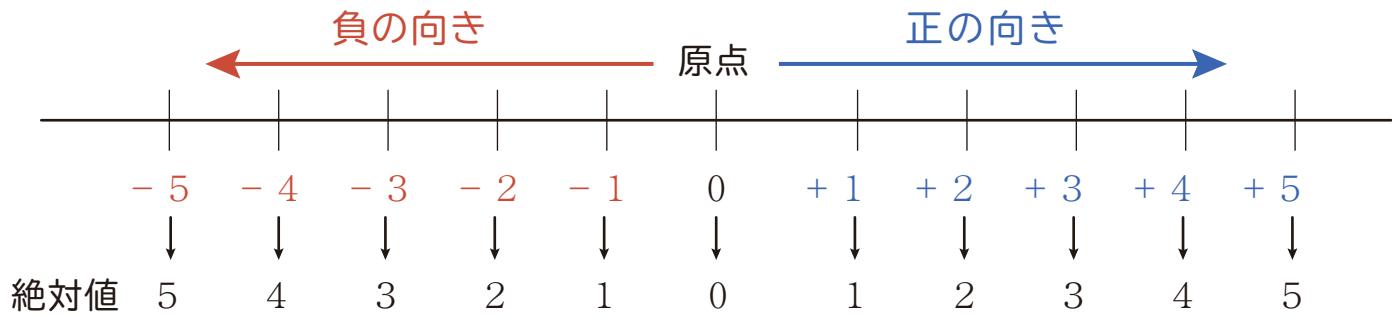
数直線と正の向き、負の向き、絶対値

すうちょくせん
数直線で0に対応する点は、原点という。

原点から正の数への向きを、正の向きという。

原点から負の数への向きを、負の向きという。

数直線上で、原点(0)から、ある点までの距離を絶対値といふ。



数の大小と不等号

数の大小は不等号で表すことができる。

$$-3 < +2$$

$$-4 > -7$$

$$-8 < -2 < +6$$

1 次の数の絶対値をいいなさい。

① $+2$ 2

② -6 6

③ -3 3

④ $+9$ 9

⑤ $+1.5$ 1.5

⑥ -7.2 7.2

⑦ $+\frac{1}{3}$ $\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{4}$ $\frac{1}{4}$

2 □ にあてはまる不等号を入れなさい。

① -5 $+3$

② -8 -4

③ $+2$ $+4$

④ -30 -40

⑤ $+1.5$ -1.3

⑥ -3.4 -3.34

⑦ $-\frac{1}{4}$ $-\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{5}$ $+\frac{1}{6}$